

海軍公報 第五二七五號

昭和二十年九月三日(月)
海軍大臣官房

○令 達

内令第七五〇號

横須賀鎮守府在籍

軍艦	山城
軍艦	武藏
軍艦	翔鶴
軍艦	信濃
軍艦	扶桑
軍艦	大和
軍艦	瑞鶴
軍艦	大鳳

吳鎮守府在籍

舞鶴鎮守府在籍

右帝國軍艦籍ヨリ除カル

昭和二十年八月三十一日

海軍大臣

官房第四〇一號

大東亞戰爭戰訓調査委員會規程左ノ通定ム

昭和二十年九月二日

海軍大臣

大東亞戰爭戰訓調査委員會規程

第一條 大東亞戰爭敗戦ノ原因ヲ調査シ之方對策ヲ研究シ新日本建設ノ資料クランシムル爲海軍省内ニ大東亞戰爭戰訓調査委員會ヲ置ク

第二條 委員會ハ委員長、副委員長、委員及幹事ヲ以テ之ヲ組織ス

第三條 委員長、副委員長、委員及幹事ハ左ノ職員ヲ以テ之ニ充ツ

委員長 軍事參議官

副委員長 海軍次官

委員 海軍省各局長

委員 海軍艦政本部長

委員 海軍航空本部長

委員 海軍施設本部長

委員 海軍運輸本部長

幹事 海軍省及軍令部ノ職員各一名

第四條 各委員ハ其ノ部局ノ部下職員ヲシテ調査研究ニ任ゼン

第五條 委員長ハ昭和二十年九月三十日迄ニ報告三通ヲ海軍大臣

海軍公報 第五二七五號 昭和二十年九月三日

二六九

0003

臣ニ提出スルモノトス

第六條 第三條ニ掲グル各局長以外ノ所屬長官ハ關係ノ戰訓
調査研究資料(所屬各部ノモノヲ徴シ添付ス)ヲ昭和二十年
九月二十日迄ニ到達スル様委員長ニ送付スベシ

○ 題 牒

軍務一第一五五號

昭和二十年九月二日

海軍省軍務局長

海軍總隊 參謀長
鎮守府 參謀長
警備隊 參謀長
各艦隊 參謀長
各艦隊 參謀長
右以外所屬長官(中央ヲ除ク)

戰訓資料ニ關スル件申進

大東亞戰爭終戦ニ際シ敗戦ノ原因及之方對策ヲ調査研究シ以テ
新日本建設ノ資料タラシムル目的ヲ以テ今般海軍省内ニ大東亞
戰爭戰訓調査委員會設置セラレ且之方調査研究ノ資料ヲ廣ク海
軍全般ヨリ蒐集ノコトニ定メラレ候處右ハ海軍各部各員ガ深キ
自省ノ下其ノ本務ニ關スル眞摯ナル所見ヲ求メラルルモノニシ
テ所掌業務以外ニ及ビ他ヲ批判スルガ如キモノハ之ヲ採ラザル
趣旨ニ有之尙現在終戦事務ノ關係上閑散ナル配置ニ在ル職員ニ
對シテハ成ル可ク多數ノ者ニ所見ヲ徴セラレ度内意ニ候

追テ資料送付期日ハ特ニ早メラレアルニ付内地(本州、九州、
四國、北海道)以外ノ各部ハ適宜ニテ差支ナキ儀ニ付申添候

海軍公報 第五一七八號

昭和二十年九月八日(土)
海軍大臣官房

○令 達

官房人機密第五〇八號

本年八月十五日現在左記上欄各部ノ本務職員タル者ハ特ニ發令セララルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒズシテ各下欄ノ相當職員ニ補命セラレタルモノトシ兼務職員ハ別ニ辭令ヲ用ヒズシテ同兼務ヲ免セラレタル義ト心得ベシ

昭和二十年八月十五日

海軍大臣 臣

記

同	吳海軍工廠砲熳實驗部	同	吳海軍工廠砲熳部兼火工部
同	魚雷實驗部	同	水雷部
同	電氣實驗部	同	電氣部
同	造船實驗部	同	造船部
同	製鋼實驗部	同	製鋼部

官房人機密第五〇九號

本年八月十五日現在相模海軍工廠職員タル者ハ特ニ發令セララルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒズシテ第二海軍火藥廠附ニ補命セラ

レタル義ト心得ベシ

昭和二十年八月十五日

海軍大臣 臣

○雜 款

○履歴記註事項ニ關スル件

昭和二十年五月六日當隊在籍者ニ付左記ノ通履歴記註相成度

記

三、五六 侍從武官御差遣酒肴料(入室以上ノ傷病者ハ御菓子料) 下賜 七〇一空

(第七〇一海軍航空隊)

○廳舎部隊移轉

廳舎部隊名	移 轉 先	移轉月日	記 事
舞鶴海軍運輸部	舞鶴市南田邊一番地(西舞鶴公會堂)	六月五日	旅行順路 西舞鶴驛下車徒歩約 電十分 舞鶴交換(三〇、三〇九) 西舞鶴(三〇、四二)
東北海軍軍需監督部	仙臺市東三番丁(齊藤報恩會博物館内)(東北地方軍需監督部理局跡)	九月一日	電 仙臺非常 三五番

海軍公報 第五一七八號 昭和二十年九月八日

二七九

0005

○改氏				
官氏名(舊氏)	電報符	新氏	届出年月日	記事
海軍少尉 葛西 翠一	ヨシ三三九	村井	昭和二〇、四二二	
同 柿崎 永三	ヨシ三〇六	高品	同 二〇、六、七	
同 大保 末徳	ヨシ三〇九	仁禮	同 二〇、六、三〇	
同 村上 世鬼郎	ヨシ三〇八	小森	同 二〇、六、七	
同 旭 亨	ヨシ二四六	田口	同 二〇、六、三〇	
同 森 義人	ヨシ四五五	早川	同 二〇、七、一七	
同 山城 孝	ヨシ三三三	平野	同 二〇、七、四	
○改名				
官氏名(舊姓)	電報符	新名	届出年月日	記事
海軍少尉 渡邊 恭吉	ヨシ三三六	小兵衛	昭和二〇、六、六	

0006

海軍公報

第五一八〇號

昭和二十年九月十三日(木)
海軍大臣官房

○通牒

軍務第一六一二號

昭和二十年九月八日

海軍省軍務局長
海軍省教育局長

各領守府參謀長
各警備府參謀長
關係各廳長 殿

海洋道場建設委員會解散ニ關スル件通知

首題委員會ハ八月二十日ヲ以テ解散シ其ノ後ニ於ケル既成海洋道場ノ使用運營ハ學徒海洋教練會(施設部)ニ於テ擔當實施スルコトニ相成候條了承相成度

(參照) 教育第九三號(八月八日海軍公報掲載)

海軍公報 第五一八〇號 昭和二十年九月十三日

二八五

0007

海軍公報 第五一八一號

昭和二十年九月十五日(土)
海軍大臣官房

○通 牒

官房經第四八三號

昭和二十年九月十三日

海軍 次 官

各領守府(參謀長)
各警備府(參謀長)
關係各廳長 殿

終戰ニ伴フ海軍共濟組合事務處理ニ關スル件
申述

終戰ニ伴フ海軍共濟組合關係事項ニ關シテハ組合ハ其ノ附屬施設共海軍自體ノ施設ニ非ズシテ組合員ノ爲ノ社會施設トシテ獨自ノ性格ヲ有スルヲ以テ形態ノ變化生ズルコトアリトスルモ組合員存続スル限リ實質的ニハ存続セラルベク又其ノ財産モ極力之ヲ擁護シ組合員ノ利益ヲ不當ニ侵害セラレザル建前ノ下ニ左記要領ニ依ルモノト了知相成度

尙共濟組合責任準備金ノ保全ニ付テハ萬全ヲ期シアル次第ナルモ曩ニ實施セル低金利對策ニ依リ生ジタル責任準備金不足額、將來ノ經濟的變動ニ對應スル考慮、滿洲、北支、朝鮮、臺灣等ニ投資セル資金ノ回收不安等必ズシモ樂觀ヲ許サザル現狀ニシテ極力國內資産ヲ保全スルノ要アリ從テ附屬施設等ノ處理ニ當リテモ嚴ニ着實適切ナル處理ヲ要シ其ノ得タル資

産ハ舉ゲテ組合本部ノ責任準備金ニ充テ以テ組合規則所定ノ給付實行上萬遺憾ナキヲ期セラレ度
追テ本件ニ對シテハ其ノ差當リノ處置ニ關シ曩ニ經理局長ヨリ電報通牒アリタル次第ナルモ不到達ノ向モアリ且尙趣旨ノ徹底並ニ細目ニ亙リ指示ノ要アリ改メテ申述ス

記

第一 給付及掛金ニ關スル件

- 一 現ニ年金ヲ受クル者ニ對シテハ差當リ昭和二十一年十二月迄ノ分ヲ組合本部ニ於テ支拂フコトトス爾後規定通
- 二 今次脫退ニ際シテ一時金資格者ニ對シテハ官ノ都合ニ依ル脫退トシテ規定通脫退一時金ヲ支給ス
- 三 今次脫退ニ際シテ年金資格者ニ對シテハ年金ノ五分分又ハ加入期間ニ應ズル脫退一時金額ノ中多額ニ付一時金トシテ支給ス但シ年金ハ之ニ依リ拂切ラルベキモノニ非ズ將來整理ノ上規則ニ依リ年金トシテ繼續セラルル豫定ナリ但シ隨トシテノ社會立法又ハ恩給法等ノ改定ニ依リ現行規則ノ適用ガ制約ヲ受クル場合ニハ其ノ趣旨ニ依リ變更セラルルコトアルベキモノトス
- 四 特ニ脫退給付金支給ニ際シテハ共濟組合規則附則ノ適用ニ付過誤ナキヲ期スルコト

海軍公報 第五一八一號 昭和二十年九月十五日

二八七

0008

五 右脱退給付ニ要スル資金ハ各廳共済組合保有資金ノ外ニ

左ニ掲グルモノヲ以テ之ニ充ツ

(イ) 共済物産部財産ヲ換價シ得タル資金

(ロ) 共済病院ノ餘裕資金

(ハ) 共済組合財産ニシテ官使用ノモノヲ官ニ賣却シ得タル

資金(賣却價格ハ帳簿價格ニ依ル但シ未整理又ハ未完成

ノ爲未ダ帳簿價格決定セザルモノニ付テハ建設資金トシ

テ本部ヨリ貸付ケタル金額ニ依ル)

(ニ) 右ノ處置ニ依リ不足スル現金ハ一時官ヨリ立替支拂ノ

上所管經理部ニテ一括報告ノコト(中央ニテ組合資産ト

ノ間ニ於テ決済ノ豫定)

六 脱退給付金ハ一〇〇圓未滿ノ端數ヲ除キ金額銀行定期預

金ヲ以テ交付スルモノトス

七 殘存組合員ノ掛金ハ規定通徴收ス

第二 附屬施設ニ關スル件

一 物産部ハ殘存組合員ニ對シ適當ニ考慮ノ上逐次換價整理

シ漸次事業縮少ノ上經營ノ必要ナキニ至ラバ閉鎖ノコト

殘餘資産ハ當該廳組合ヲ通シ組合本部ニ移管ノコト

換價困難ナル不動産備品等ハ其ノ儘トシ保管上適當ナル方

途ヲ講ジ置クモノトス

二 病院ハ廳廢止迄從來通但シ經營ハ狀況ニ應ジ適當縮少差

支ナシ廳廢止ノ際ハ診療ハ一般保險醫ニ委ネ之ヲ閉鎖シ財

産ハ整理ノ上當該廳組合ヲ通シ組合本部ニ移管ノコト但シ

東京、横須賀、吳、佐世保、舞鶴、追濱、廣各所在病院ハ

廳廢止後ト雖モ閉鎖スルコトナク何分ノ指示アル迄其ノ儘

ノ經營ヲ續行ノコト

閉鎖後ノ處理ニ關シテハ各病院各個ニ處理セズ意見ヲ具シ

海軍大臣ノ指示ヲ受クルコト但シ移管等ニ關スル交渉ハ原

則トシテ有償トシ其ノ額モ帳簿價格以上ヲ以テスルヲ例ト

ス

病院閉鎖前聯合國側ヨリ使用ノ申出アリタルトキハ所在交

渉機關ヲ通シ處理ノ上速ニ報告ノコト

三 貸付部、保險團體取扱部、住宅組合貸付ニ付テハ各規則

ニ依リ速ニ整理促進ノコト

第三 報告

組合員並ニ將來外地等ヨリ歸還又ハ復員ノ組合員ノ利益保全

ノ爲左ノ調書ヲ作製報告ノコト

一 今次脱退ニ依ル年金資格者調書(脱退者氏名、生年月日、

加入年月日、脱退年月日、脱退時ノ掛金基準給料、給付額

及出來得レバ住所ニ付作製ノコト)

二 共済組合規則第二十三條該當者調書(細則第三十七號書

式)(八月三十一日現在脱退一時金未拂ノモノニ付作製ノ

コト)

三 八月三十一日現在特設廳派遣者調書(派遣者氏名、生年

月日、加入年月日、八月三十一日現在給料ニ付作製ノコト)

四 共済組合規則施行細則ニ依ル報告ハ當該廳廢廳ニ至ル迄

0009

第四 組合員現況報告ノミ提出シ爾餘ハ省略差支ナシ

一 各廳共済組合ハ廢廳ノ場合ニハ整理濟次第收入支出計算書、財産目錄其ノ他資産狀況ヲ明カナラシムル書類ヲ作製組合本部宛送付ノコト尙證憑書類ハ八月分以降直接組合本部ニ提出ノコト

二 附屬施設閉鎖ノ場合ニハ貸借對照表及財産目錄(各項目別内譯共)ヲ組合本部ニ提出ノコト尙八月分以降收支證憑書類ハ直接組合本部ニ送付ノコト

三 組合ノ附屬施設共諸帳簿ハ何分ノ指示アル迄保存ノコト狀況ニ應ジ其ノ保管ヲ最寄經理部又ハ適當ナル官憲ニ依頼シ差支ナシ

四 組合事務處理上必要ナル人員又ハ組合附屬施設存続上必要ナル人員ニシテ各廳殘務整理要員ニ加ヘラレザル場合ニハ適宜組合本部所屬囑託又ハ雇傭人トシテ殘留セシメ差支ナシ

五 第一號及第二號所定ノ書類ノ送付提出ハナルベク關係員ヲシテ持參出頭ノ上整理ニ關スル説明ヲ補足セシムルト共ニ確實ナル引繼ヲ了スルコト

經給第一三六號

昭和二十年九月十日

海軍省經理局長

海軍公報 第五一八一號 昭和二十年九月十五日

各所屬長官 殿
關係各所屬長官

軍人軍屬ノ解員又ハ整理及之ニ伴フ給與等ニ關スル令達申進等ノ件通知

首題ノ件ニ關シ現在迄ニ發布セラレタル令達申進等左ノ通電報ヲ

昭和二十年八月三十日

發 海軍大臣

宛 内地、朝鮮、關東州及滿洲國所在各所屬長官、各關係所

轉長

機密第三〇一八三一番電

海軍文官及囑託者ノ退職ニ伴フ給與等ニ關スル件

海軍文官及囑託者(海軍ノ勤務ヲ本務トスル者ニ限ル)ノ整理

ニ伴フ給與等ニ關シ左ノ通定メ本年八月十五日ヨリ之ヲ適用ス

一 俸給等

軍人ニ準ズ(官房機密第二二二三二〇番電參照)

二 退職賞與

海軍退職賞與内規ニ拘ラズ退職時ノ所轄ニ於テ左ノ額(十回

未滿ノ端數ハ十回ニ切上グ)ヲ支給ス但シ勤怠及勤務年數ノ

長短等ニ應ジ所屬長官ノ定ムル所ニ依リ適宜減額スルコトヲ

得 (イ) 文官

勅任文官

	俸給月額
奏任文官	十八月分但シ六、四 キハ六、四三〇圓
三級俸以上ノ者	同
四級俸以下ノ者	十九月分但シ三、五 九〇圓ニ滿タザルト キハ三、五九〇圓
判任文官	二十月分
特別俸ノ者	同
一級俸乃至三級俸ノ者	二十二月分
四級俸以下ノ者	同
囑託者	二十四月分
報酬月額	三三〇圓以上ノ者
報酬月額	三三〇圓ニ滿タザルトキハ 六、三〇〇圓
同	三五〇圓未滿二〇〇圓以上ノ者
同	十八月分但シ三、八〇〇圓ニ滿タザルトキハ 三、八〇〇圓
同	二〇〇圓未滿二〇〇圓以上ノ者
同	十九月分但シ二、四〇〇圓ニ滿タザルトキハ 二、四〇〇圓
同	二二〇圓未滿ノ者
同	二十月分
(ハ) 退職賞與ノ支給ヲ受クル者ニハ歸郷ニ要スル旅費ハ之ヲ	

支給セズ但シ歸郷者ニハ軍人ニ準ジ無賃乗車證ヲ交付スルモノトス

(ニ) 退職賞與ノ中一、〇〇〇圓ヲ超ユル部分ハ軍人ニ準ジ銀行定期預金證書ヲ以テ交付ス

(ホ) 同時ニ應召又ハ應徵ノ軍人トシテ退職賞與ノ支給ヲ受クル者ニハ文官同待遇者トシテ受クル退職賞與ノ額ノ方多キ場合ニ限り其ノ差額ヲ支給ス

三 糧食
艦船部隊勤務者ニハ歸郷ニ要スル辨當ノ外糧食五日分以内ヲ支給スルコトヲ得

四 其ノ他
生活必需品ノ配給ヲ受クルニ要スル轉出證明書等ノ措置及歸郷者トノ連絡ニ付テハ軍人ニ準ジ處理スルモノトス

昭和二十年九月五日

發 經理局長
宛 内地、朝鮮、關東州及滿洲國所在各所屬長官、各關係所
轄長
機密第〇二一〇一八番電
從軍文官ノ退職賞與ニ關スル件
官房第三〇一八三一番電ニ依ル退職賞與ハ從軍文官ニシテ他ノ官廳ニ復歸スル者ニハ支給セザルコトニ取計ハレ度

昭和二十年九月八日

0011

發 海軍次官

宛 内地、朝鮮、關東州及滿洲國所在各所屬長官、關係各所

轉長

官房第〇八一七二三番電

逃亡其ノ他故ナク離職シタル者ニ退職賞與不給ノ件

逃亡其ノ他所屬長官於テ支給不當ト認メタル者ニハ解員又ハ

整理ニ際シ退職賞與ハ之ヲ支給セザルコトニ定メラル

○雜 款

○履歴記註事項ニ關スル件

昭和二十年五月六日當班在籍者ニ付左記ノ通履歴記註相成度

記

二十、五、六

侍從武官御(入室以上ノ傷病) 下賜 二八魚調
差遣酒肴料(者ハ御菓子料)

(第二十八魚雷調整班)

昭和二十年五月六日當隊在籍者ニ付左記ノ通履歴記註相成度

記

二十、五、六

侍從武官仰(入室以上ノ傷病) 下賜 九州空
差遣酒肴料(者ハ衛菓子料)

(九州海軍航空隊)

○事務引繼ニ關スル件

海軍經理學校垂水分校及樞原分校關係職員ハ本月十日現地引揚

ダ品川本校ニ復歸ニ付爾後兩校共生徒及豫科生徒關係事務ハ品川本校ニ於テ處理ス

(海軍經理學校)

0012

海軍公報 第五一八二號

海軍大臣官房

昭和二十年九月十七日(月)

(本紙ト引換舊紙ハ燒却相成度)

命令

官房軍第四一四號

復員援護委員會規程左ノ通定ム

昭和二十年九月十四日

海軍大臣

復員援護委員會規程

第一條 復員援護會ノ發足ニ當リ其ノ軌道ニ乘ル迄ノ期間之ヲ
援助シ連ニ其ノ機能ヲ活潑ニ發揮セシムル爲海軍省ニ復員援
護委員會ヲ置ク

第二條 委員會ハ委員長、委員、幹事及幹事輔佐ヲ以テ別表ニ
依リ之ヲ組織ス

第三條 委員長ハ會務ヲ總理ス

第四條 委員、幹事及幹事輔佐ハ議案ヲ審議ス

第五條 前條ノ外幹事長ハ委員長ノ命ヲ承ケ委員會ニ關スル事
務ヲ統理ス

第六條 第四條ノ外主任幹事ハ幹事長ノ命ヲ承ケ議案其ノ他業
務ヲ掌理シ幹事輔佐ハ幹事ヲ輔佐ス

第七條 各委員ハ其ノ部局ノ部下職員ヲシテ各幹事ヲ輔佐セシ
ムルモトス

第八條 委員會ニ於テ審議決定セル事項ハ委員長之ヲ實行シ又

ハ關係部局ニ於テ之ヲ實行スル如ク措置スルモノトス

(別表添)

〇雜款

〇轉官

舊官	氏名	新官	轉官年月日	記事
海軍書記	岡村 潔	山口縣屬	七月二一日	
	多田 壽雄	山口縣屬	七月二一日	
	野田 武	福井縣屬	八月一四日	
	野路 常吉	同	同	
	三嶋 喜太郎	長野縣屬	八月一七日	
海軍警部	鶴、吉雄	神奈川縣 警部補	八月二二日	
同	廣瀬 國夫	岐阜縣屬 警部	八月二五日	
海軍書記	鬼頭 一雄	財務局屬	八月二七日	
海軍技師	柳 澤 靜	財務局技手	九月四日	

海軍公報 第五一八二號

昭和二十年九月十七日

二九三

(官房軍第四一四號別表)

(昭和二十年九月十七日海軍公報)

委員中將官一八幹事長、幹事申○印ハ主任幹事トス	海軍次官	委員長	復員援護委員會組織
	軍務局長 軍務局次長 人事局長 將官 教育局長 軍需局長 醫務局長 經理局長 法務局長 軍令部第一部長 艦政本部總務部長 航空本部總務部長 施設本部總務部長 運輸本部總務部長	委員	
	軍務局各課長 人事局○各課長 教育局第一課長 軍需局 總務部第一課長 第一部第一課長 第二課長 醫務局 第二課長 第一部第一課長 經理局 第二課長 第一部第一課長 法務局 首席局長 第一課長 軍令部第一課長 艦政本部總務部第一課長 航空本部總務部第一課長 施設本部總務部第一課長 運輸本部總務課長	幹事	
人事局第二課勤務 職業輔導關係職員	幹事輔佐		

海軍公報

第五一八四號

昭和二十年九月十九日(水)
海軍大臣官房

○通 牒

海人一第一號ノ一三三

昭和二十年九月十八日

海軍省人事局長
海軍省軍務局長

各所屬長官ノ殿
關係各所轄長ノ殿

解員關係令達ノ件通知

首題ノ件左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 海軍次官

宛 部内一般

第〇三一五四番電

宛 各廳長

今次解員ニ際シ尙殘留セシメラルモノノ中今後ノ身上取扱其
ノ他ニ關シ種々疑惑ヲ起シ不安ヲ感ジ居ルモノアルヤニ仄聞ス
ル處殘留員ニ對シテハ今後ノ任用進級諸給與及解員後ノ就職轉
旋等特ニ考究中ニシテ充分身上取扱ヲ保證セラルル方針ニ付含
ミノ上可然部下指導アリ度尙現下軍紀風紀ノ嚴肅ハ益々緊要ナ
ルニ鑑ミ軍法會議ノ機構ヲ擴充強化以テ犯則者就中軍紀犯ニ對
シテハ嚴重處分セラルルモノナルニ付部下指導上萬遺憾ナキヲ

期セラレ度

發 海軍大臣
宛 部内一般

第〇五二一〇八番電

一 各廳長ハ聯合軍制ニ對シ兵器、需品、施設ノ引渡ヲ完了ス
ル迄其ノ保管並ニ授受ノ責ニ任ズベシ

二 前號ニ關聯各廳長ハ(特別ノ事情アル場合ハ廳長ノ指定セ
ル高級士官)ハ別ニ辭令ヲ用フルコトナク所管又ハ所屬海軍
軍需部又ハ航空廠ノ部員ニ兼補セラレ且其ノ所在ニ應ジ當該
海軍軍需部又ハ航空廠某出張所長ヲ命ゼラレタルモノトス

三 官房機密第二二二五五番電ニ依ル訓令(内務長ヲ軍需部
部員等ニ兼補スル件)ハ之ヲ廢止ス

發 海軍大臣

宛 内地所在各鎮守府司令長官、艦隊司令長官

通報 關係各所轄長、霞空、洲崎空、濤校、一、二、一〇特

攻P第〇七一五四二番電

所屬長官ハ左ニ依リ解員(豫備役編入)ヲ實施スベシ

一 解員スベキ者

(イ) 九月六日現在ニシテ横須賀海軍砲術學校、海軍水雷學校、

海軍公報 第五一八四號 昭和二十年九月十九日

二九九

横須賀海軍工作學校（沼津分校ヲ除ク）及大楠海軍機關學校ノ職員タリシモノ

(ロ) 海軍電測學校、横須賀海軍航空隊、横須賀海兵團及武山海兵團ノ職員

(ハ) 霞夕浦海軍航空隊ノ飛行學生洲ノ崎海軍航空隊ノ兵器整備學生、海軍潜水學校普通科學生及同高等科學生、第一特攻戰隊、第二特攻戰隊及第十特攻戰隊（以上麾下突撃隊ヲ含ム）ニ在ル水中特攻ノ搭乘並ニ整備講習員

(ニ) 右各號中將官及佐官、海軍大臣又ハ所屬長官ノ指定スルモノ及保安警戒殘務處理並ニ兵器軍需品ノ保管等ニ任ズベキモノヲ除ク

二 解員期日、九月十五日附トス但シ右期日以前適宜退隊（校）セシメ差支ナシ

三 解員（豫備役編入）ハ現役士官ニ關シテハ海軍大臣ノ名ニ於テ行フ外官房機密第二一〇一一〇番電ノ要領ニ依ルベシ

四 所屬長官ハ解員者名簿（歸郷先ヲ附記ス）ヲ速ニ海軍省人事局長ニ送付スベシ

追テ九月六日海軍公報第五一七六號掲載解員關係令達申進等ノ電報番號左記ノ通

件名	電報番號
第一段解員指令	機密第二一〇一一〇番電
解員ニ當リ所要員數殘留ノ件	機密第二一五四五番電

會計經理處理上必要ナル要員ハ殘務完了迄解員セザル件 第二六一八三二番電

解員ニ伴フ任用進級ニ關スル件 機密第二二二二五四番電

海軍軍人ノ解員ニ伴フ給與等ニ關スル件 機密第二二二二三三〇番電

軍人ノ解員ニ伴フ給與ノ件及雇附人員ノ整理ニ伴フ給與ノ件ノ適用期日ニ關スル件 機密第二三一六一三番電

海軍軍人ノ解員ニ伴フ給與等ノ減額支給ノ件 機密第二三一六二二番電

囑託者及徵用員解囑（解除）ニ關スル件 機密第一八四四五〇番電

雇附人員、工員ノ整理ニ關スル件 機密第二〇二二三四番電

海軍ノ各部ニ勤務スル雇附人員工員及動員學徒ノ整理ニ伴フ給與等ニ關スル件 機密第二二二二五五番電

海軍公報 第五一八五號

昭和二十年九月二十日(木)
海軍大臣官房

○令 達

官房人機密第五一〇號

昭和二十年九月十六日

海軍大臣

所屬長官ハ九月三十日現在員(特ニ指定スル者ヲ除ク)ニ付左記標準ニ依リ臨時賞與ヲ支給スベシ

記

區

分

賞與額(本俸又ハ給料ニ付)

一 軍 人 (昭和二十年六月一日以後海軍ニ入籍ノ兵ヲ除ク)

一月分以内

二 文官同待遇者

一月分以内

三 嘱 託 者 (一時ノ報酬ヲ受クル者及本官アル者ヲ除ク)

一月分以内

四 雇員 傭人 (月給者)

一月分以内

五 同 (日給者)

三十日以内

六 工 (傭) 員

二十日以内

本年五月三十一日以前入隊(校)ノ甲種及乙種飛行豫科練習生ニ對シテハ年末年度末賞與内規ノ規定ニ拘ラス第一號ノ區分ニ依リ支給スルモノトス

○通 牒

海人三機密第一〇號ノ五四

昭和二十年九月十六日

海軍省人事局長
海軍省經理局長

關係各廳長殿

臨時賞與支給ニ關スル件申進

本年官房人機密第五一〇號ニ依ル臨時賞與ハ昭和十九年海人三機密第一〇號ノ四ニ依ルノ外左記ニ依リ取扱フモノト了知相成度

記

一 各省(廳)職員トシテ專任セラレタル定員外海軍武官ニシテ本年九月三十日以前海軍ニ復歸シタルモノニ對シテハ其ノ勤務期間ヲ海軍ニ於ケル勤務期間ニ通算シ算出シタル金額ヲ現所屬廳ニ於テ支給ス

二 昭和十六年勅令第千二百四號ニ依リ部外ノ文官同待遇者ヨリ海軍文官同待遇者ニ轉官職セシメラレタル者及明治三十八年勅令第四十三號ニ依リ所屬官廳ノ定員外ト爲リ海軍ノ勤務セシメラレタル者等(以下臨時職員ト稱ス)ニ對シテハ左ニ依ルモノトス

海軍公報 第五一八五號 昭和二十年九月二十日

三〇一

0017

- (イ) 九月三十日現在ニ於テ臨時職員タル者ニ對シテハ本賞與ノ全期間勤務セシモノト看做シ其ノ賞與金全額ヲ支給ス
- (ロ) 九月三十日以前海軍ヨリ轉出セル臨時職員ニ對シテハ支給セズ
- 三 前各號ニ該當スル者ノ中九月三十日附發令ノ者ニ對シテハ新所屬省(廳)ニ於テ夫々其ノ賞與金全額ヲ支給スルモノトス
- 四 廳長ハ昭和十九年經給機密第一五四號ニ準ジ工(曠)員ニ對シ賞與ノ減額ヲ爲スコトヲ得

0018

海軍公報 第五一八六號

昭和二十年九月二十一日(金)
海軍大臣官房

○令 達

官房人第四四〇號

本年八月十日現在造船造兵監督業務ニ從事スル者及部外工場事業場監理(監査)業務ニ從事スル者ハ特ニ發令セララルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒズシテ現所屬ニ從ヒ夫々當該海軍軍需監督部ノ部員又ハ附ニ補命セラレタル義ト心得ベシ

昭和二十年八月十日

海軍大臣

官房人第四三六號

來二十三日秋季皇靈祭同神殿祭ニ付當日左ノ通心得ベシ

昭和二十年九月十九日

海軍大臣

一 參集スベキ者

親任官

(イ) 勅任官同待遇總代一人

二 時刻及場所

午前九時三十分 賢所參集所

三 服 裝

武官 第三種軍裝 長劍略綬

○雜 款

文官 從軍服、略服(略綬)又ハ通常服

○總代

來二十三日秋季皇靈祭同神殿祭ニ付當日勅任官同待遇總代トシテ賢所參集所ニ參集セシムベキ旨左記ノ通有之候

記

海軍主計少將

堤 恭 二

海軍公報 第五一八六號 昭和二十年九月二十一日

三〇三

0019

海軍公報 第五一八七號

昭和二十年九月二十二日(土)
海軍大臣官房

○通牒

海人一第一號ノ一三六

昭和二十年九月二十一日

海軍省軍務局長
海軍省人事局長

各所屬長官
各所轄長

第二段解員指令ノ件通知

首題ノ件左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 海軍大臣

宛 各長官、各廳長(通報)各所轄長

第〇九一七三一番電

第二段解員ノ件

海軍軍人ノ第二段解員(豫備役編入ヲ含ム以下同ジ)ハ特令スルモノノ外左ノ要領ニ依リ實施スベシ所屬長官ハ本令ニ基キ所要ノ統制ヲ行フモノトス

一 解員ハ解隊又ハ定員ヲ置カザルコトトナリタル艦船部隊(掃海關係等特ニ必要ナルモノハ當分解隊セズ)ノミニ付其ノ期日ヲ以テ之ヲ行フ但シ狀況ニ依リ海軍大臣又ハ所屬長官特令シテ解員セシムルコトアリ

二 既解隊等ノ艦船部隊ノ職員ニシテ現ニ鎮守府附警備府附又ハ艦隊司令部附タルモノニ在リテハ九月十五日附トス右以外ノ各廳ノ解員ニ付テハ別令ス

三 解員ハ海軍大臣又ハ所屬長官ノ指定スル者又ハ轉動發令アリタル者及左ノ各項ニ該當スル者(本項ニ依ル殘留員ノ配屬ニ關シテハ官房人機密第〇五二一一〇番電ニ依ル)ヲ除キ全員ニ付之ヲ行フ

(イ) 保安隊(最少限度ノ兵力トシ兵器需品等ノ保管引渡ニ要スル人員ヲ含ム)
(ハ) 人事會計經理等ノ殘務整理ニ要スル人員
(ニ) 通信連絡及自活ニ必要ナル人員
(ホ) 永久服役ノ軍醫科、藥劑科、齒科醫科士官ノ全部
其ノ他特ニ必要トスル者

四 解員ハ佐官以上ニ付テハ海軍大臣直接之ヲ行ヒ尉官ニ付テハ海軍大臣特務士官准士官下士官及兵ニ付テハ在籍鎮守府司令長官ノ名ニ於テ所轄長之ヲ實施ス

五 本令ニ依リ解員トナルベキ者ノ特殊任用進級ハ八月十五日以降任用進級セラレザリシ者ニ付解員ノ日ニ於テ官房人機密二一〇一一〇番電第五號ニ依リ實施スルコトヲ得
六 諸給與等ニ付テハ第一段解員ニ關スル事項ヲ適用ス
六 解員ニ關スル諸報告ハ既令ニ依リ特ニ速報ニ努ムベシ

海軍公報 第五一八七號 昭和二十年九月二十二日

三〇五

0020

○ 雜 款

○ 轉官

舊 官	氏 名	新 官	轉官年月日	記事
海軍警部	岡田勝美	山形縣警部 補	六月一日	
海軍書記	大堀勝次郎	茨城縣屬	六月一日	
同	桑島 仁	同	同	
海軍警部	赤荻徳司	茨城縣警部 補	同	
海軍書記	西川重臣	大阪府屬	六月三〇日	
海軍警部	酒井作夫	長野縣屬兼 長野縣警部	七月一日	
海軍書記	井上政郎	山形縣屬	七月一日	
同	坪野惣四郎	東京都主事 補	八月一日	
海軍司政官	武下一郎	大分縣經濟 第二部長	八月一日	
海軍技師	森田幸造	東京都事務 官	同	
海軍書記	石原慶藏	軍事保護院 屬	八月二三日	
海軍司政官	松本 暉	地方事務官	八月二五日	
同	酒井重記	警視廳屬兼 警視廳警部	八月三〇日	

0021

海軍公報 第五一八八號

昭和二十年九月二十四日(月)
海軍大臣官房

○通牒

海人一第一號ノ一四三三

昭和二十年九月二十日

海軍省人事局長

各所屬長官(殿)
關係各所轄長

解員關係令達等ノ件通知

首題ノ件左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 海軍大臣

宛 各領長官(通報)各所轄長

機密第二四一三三〇番電

氣象部、水路部及施設系關係輸送隊掃海隊關

係解員ニ關スル件

官房機密第二一〇一一〇番電關聯

解員スベキ者ノ中海軍氣象部水路部關係ニ在リテハ現編成ノマ

マ運輸省ニ轉用方接衝中ナル處歸郷希望者ニ對シテハ解員差支

ヘナシ

輸送隊掃海隊關係ニ在リテハ差シ當リ現役兵ト交代セシメタル

上解員シ差支ヘナシ

發 海軍省軍務局長

宛 部内一般

第〇七一九〇八番電

復員ニ件ヒ治安維持殘務整理等ノ爲殘留スル軍人、軍屬ノ復員後ニ於ケル就職斡旋ニ關シテハ特別ノ考慮ヲ拂ヒ特ニ優先的ニ取扱フノ要アルヲ以テ右軍人、軍屬ニハ復員ニ際シ所屬部隊(廳)長ニ於テ機宜證明書ヲ付與セラレ度

發 海軍省教育局長

宛 部内一般

第〇八〇八五一番電

文部省管下學校ヘノ入學希望者ハ解員前ニアリテモ入學手續ヲ爲シ得ルコトニ定メラレタルニ付希望者ヲシテ速ニ出願手續ヲ執ラシメラレ度

尙詳細ハ九月七日新聞發表ノ外各學校宛文部省ヨリ通知シアリ

發 海軍省人事局長

宛 各所屬長官

第〇七一一二三〇番電

官房機密第三〇一四〇一番電ニ依ル海軍文官終職處理實施ニ當リテハ左ニ依リ取計ハレ度

海軍公報 第五一八八號 昭和二十年九月二十四日

三〇七

0022

一 高等文官

(イ) 任用其中書添附書類中戸籍謄本ハ之ヲ省略スルコトヲ得
(ロ) 任用ニ際シテハ諸給與ガ判任文官ノ儘退官セル場合受ク
ベキ給與額ヲ下ラザル範圍ニ於テ級俸ヲ定ムルコトヲ得

二 判任文官

(イ) 増 俸

(一) 二級俸三級俸ノモノハ共ニ一級俸ト爲スコトヲ得

(二) 特別俸ヲ給シ得ルハ一級俸在職五年以上ノ者ニ限ル

(ロ) 雇員工員等ヨリノ任用

現行内規ニ依ルハ勿論亂用ニ陥ラザルヲ本旨トシ明年三月
末日迄在職セバ當然任用セラルベキ程度ノモノニ付餘議ス
ルモノトス

海人二第一號ノ一四四

昭和二十年九月二十日

海軍省人事局長

關係各廳長殿

沖繩縣民在本土疎開者現住所ノ件通知

首題ノ件ニ關シ沖繩聯隊區司令部勤務班長(熊本師團司令部内)

ヨリ別紙ノ通照會有之候條可然取計相成度

(別紙)

熊師沖留第一〇八號

沖繩縣民疎開者所在地衆知方ノ件照會

昭和二十年九月四日

海軍省副官殿

沖繩聯隊區司令部勤務班

復員ニ伴フ除隊セラルベキ沖繩縣出身將兵ニ對シ沖繩縣民在本
土疎開者名簿(現住所並氏名)ハ當班ニ保管シアルニ付出頭閱
覽又ハ書面照會スル如ク指導相成度照會ス

○ 雜 款

○訂正

人事局第〇九一七三八番電ニ依リ、官房入第〇七一五四二番電
(九月十九日公報第五一八四號)一ノ(ロ)項中「横須賀海兵團」ヲ
削除セラレタリ

0023

海軍公報 第五一八九號

昭和二十年九月二十五日(火)
海軍大臣官房

○通 牒

海人一第一號ノ一四八

昭和二十年九月二十三日

海軍省人事局長

各所屬長官
關係各所轄長 殿

解員ニ關スル令達等ノ件通知

首題ノ件左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 海軍省人事局長

宛 各鎮守府、各警備府參謀長

第〇六一五三六番電

下士官及兵入院者ノ取扱ニ關スル件

下士官及兵ニシテ現ニ入院中ノモノ竝ニ今後入院セシムル場合ニ於ケル轉勤取扱ニ關シ左ノ通定メラル

一 現ニ海軍病院入院中ノ者ハ適宜ノ日附ヲ以テ當該病院附ニ發令スルモノトス

二 新ニ海軍病院ニ入院セシムル場合ハ所轄長ニ於テ入院ノ日ヲ以テ當該病院附トシテ轉勤セシムルモノトス

三 入院者退院スル場合解員該當者ハ海軍病院ヨリ直接之ヲ解

海軍公報 第五一八九號 昭和二十年九月二十五日

員シ解員スベカラザル者ハ原所轄又ハ所屬鎮守府ノ海兵團ニ復歸セシムルモノトス
四 在籍鎮守府(警備府)司令長官ハ必要ト認ムル場合ハ前各號ニ據ルコトナク機宜處理スルコトヲ得

發 海軍大臣

宛 部内一般

第一〇二二三一番電

部隊又ハ艦ニ於テ解散又ハ廢止トナリ定員ヲ置カレズシテ其ノ一部ガ保安隊員、殘務整理員又ハ通信關係員等トシテ存續スル場合ハ前廳長又ハ殘留首席士官ハ引續キ該保安隊等ニ對シ所轄長ノ職務ヲ執ルモノトス

前項ノ場合保安隊等ニ於ケル經費掌理、給與等ハ前廳ニ準ズルモノトス

發 海軍省人事局長

宛 各鎮守府、各警備府(除高雄警備府、海南警備府)司令

令長官、海軍總隊、第三航艦、第五航艦、第十航艦、第十二航艦、第七艦隊司令長官

第一一四〇二番電

海軍保安隊員中警察官希望者調査ノ件

三〇九

海軍保安隊ハ海軍關係諸事務終了ニ伴ヒ解員セシメラルル豫定ナルトコロ一方國內全般ノ治安確保ノ爲目下内務省ニ於テ警察官ノ急速増員ノ計畫アリ海軍保安隊員中希望者ハ優先採用ノコトニ内務省ト折衝中ニシテ待遇問題等未定ナルモ不取敢右希望者員數至急通報ヲ得度

發 海軍省軍務局長、海軍省人事局長

宛 内地各鎮守府、各警備府、各艦隊參謀長、内地各所轄長
第一一九〇九番電

解隊又ハ廢廳以後並ニ本年九月十五日以降各部ノ殘務整理等ニ從事スル軍人軍屬ノ就職斡旋ニ關シテハ特ニ優先的ニ取扱ハルルコトニ次官會議ニ於テ決定セラレタルニ付各所轄長ハ本人解員ノ際終戰事務從事者證明書(内容本人所屬等級氏名殘務從事期間、從事殘務ノ内容、本人ノ就職斡旋ヲ優先扱トスル理由等ヲ記載ス)ヲ作成シ交付ノコトニ取計ハレ度

發 海軍省人事局長

宛 各所屬長官

第一二一七三〇番電

當分ノ開機密第〇五二一一〇番電訓令ニ依ル毎週土曜日現在ニテ調査セル部下軍人(士官、特准、下士官兵別)軍屬員數ハ既令ニ依ル報告ノ外更ニ各所轄別細目ヲ翌週水曜日迄ニ到達スル如ク航空便等ニ依ル急送又ハ電報通知方取計ハレ度

發 海軍省人事局長

宛 内地、朝鮮所在各鎮守府、各警備府、各艦隊參謀長
第一四二〇〇六番電

九月五日附特選任用ノ少佐解員ニ關スル件
九月五日附特務士官ヨリ任用ノ各科少佐ノ解員ハ官房第〇九一七三一番電第三號ニ拘ラズ海軍大臣ノ名ニ於テ所轄長實施スルコトニ定メラル

發 海軍大臣

宛 部内一般

第一〇二二三〇番電

文官囑託者及徵用員ノ九月末日及十月一日附定期進級、増俸(報酬増額)ハ之ヲ行ハズ

發 海軍大臣

宛 各所屬長官

第一三一九四九番電

官房機密第三〇一四〇一番電海軍文官終戰處理要領第二號ノ(イ)中第三次以降ノ解員ニ付左ノ通定ム判任文官ニ付テハ本要領ヲ準用ス

一方 針

- (イ) 左ニ該當スル者ハ何分ノ令アル迄殘留セシム
- (二) 氣象、水路及施設係關係者
- (三) 現ニ通譯要員トシテ配員セラレアル者
- (四) 殘務處理上特ニ必要ナル者

- (ロ) 所屬廳(部隊)ノ廢廳(解隊)又ハ定員ヲ置カレザルニ至リタル者ハ其ノ都度免官ス
- (ハ) 右以外ノ者ニ在リテハ十月末日ヲ以テ大部ノ解員ヲ終了スルモノトス
- 二 解員時機並ニ員數
 - (イ) 第一號(ロ)項該當者ニ在リテハ其ノ都度第一號(ハ)項該當者ニ在リテハ左ニ依ル
 - (一) 第三次 十月一日 解員ノ約二分ノ一
 - (二) 第四次 十月十五日 解員全員
 - (ハ) 殘務處理ノ爲殘留ノ者ニ在リテハ殘務終了ノ都度
- 三 通 報
 - (イ) 所屬長官ハ前號ノ各區分毎ニ官等級氏名ヲ各期日ノ十日前途ニ到達スル如ク海軍省人事局長ニ通報スベシ
 - (ロ) 所屬長官ハ右通報ヲ所轄長官ヲ行ハシムルコトヲ得
- 四 其ノ他
 - (イ) 第二號(ロ)項該當者中前號ニ依ル通報ナキ者ハ第四次解員者トシテ處理ス
 - (ロ) 人機密第三〇一九三〇番電ニ依ル他省文官轉官希望者中差當リ轉官ノ目途立タザルモノハ十月三十日附ヲ以テ免官トシ爾後引續キ他省ニ採用ノ手續ヲ進ムルモノトス

海軍公報 第五二八九號 昭和二十年九月二十五日

三一

0026

海軍公報 第五一九〇號

昭和二十年九月二十六日(水)
海軍大臣官房

○通牒

經豫六號ノ一三五

昭和二十年九月十日

海軍省經理局長

各所屬長官(殿)
關係各所轄長(殿)

雇員傭人増給豫算ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 海軍省經理局長

宛 部内一般

第一〇一三四四番電

十月一日附雇員傭人ノ増給ハ定期増給及特別措置共前回通ノ豫算ヲ以テ實施サレ度

經豫第六號ノ一六九

昭和二十年九月二十四日

海軍省經理局長

各所屬長官(殿)
關係各廳長(殿)

兼務囑託者ニ特別報酬金支給ノ件通知

通知首題ノ件左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 海軍大臣

宛 各所屬長官、關係各廳長

第一九一九四一番電

海軍官衙部隊學校ノ有報酬兼務囑託者(部外ニ本務ヲ有スル者)

ニシテ昭和二十年八月十五日以降解囑セラレタルトキハ勤務年

數三年以上ノ者ニ限り左ノ區分ニ基キ所屬長官ノ定ムル所ニ依

リ特別報酬金ヲ支給スルコトヲ得

勤務年數 三年以上ノ者、報酬月額 五ヶ月分以内

同 十年以上ノ者 同 十ヶ月分以内

○雜 款

○從軍加算付與ニ關スル件

今般官房人第一三八號ニ依リ當隊學生、練習生、講習員並ニ新

兵教程中ノ者ニ對シ昭和十九年七月十日ヨリ職務丁加算セラ

ルコトト相成候ニ就テハ右期日以後貴廳ニ轉勤セル者ノ履歴書

(表)左記ニ依リ記註ノ上恩給年敘勳年加算通知等可然處理相

成度

記

自昭和二十年二月十日	出水海軍航空隊	職務丁	出水空
至同年二月十日	第一出水海軍航空隊	職務丁	第一出水空

(光州海軍航空隊)

0028

海軍公報 第五一九一號

昭和二十年九月二十七日(木)
海軍大臣官房

○令 達

官房軍第四三四號

俘虜虐待者査問委員會規程左ノ通定ム

昭和二十年九月二十六日

海軍大臣

俘虜虐待者査問委員會規程

第一條 海軍部内ニ於ケル俘虜及抑留者虐待者ノ調査及査問ヲ行フ爲海軍省内ニ俘虜虐待者査問委員會ヲ置ク

第二條 委員會ハ委員長、委員及幹事ヲ以テ之ヲ組織シ左ノ職員ヲ以テ之ニ充ツ

委員長 次 官

軍務局長

人事局長

委員 軍令部第三部長

○法務局長

終戰委員會第七分科會委員

○印ハ幹事トス

第三條 委員長ハ會務ヲ總理ス

第四條 委員長ハ調査査問ニ基ク具體案ヲ速ニ作製シ之ヲ海軍大臣ニ提出スベシ

第五條 委員ハ俘虜及抑留者虐待者ノ調査及査問ニ關スル事項ヲ分擔シ議案ヲ審議ス

第六條 幹事ハ委員長ノ命ヲ承ケ議案其ノ他ノ事務ヲ掌理ス

第七條 各委員ハ必要ニ應ジ其ノ部局(分科會)ノ部下職員ヲシテ其ノ分擔ノ事項ヲ輔佐セシムルコトヲ得

海軍公報 第五一九一號 昭和二十年九月二十七日

三一五

海軍公報 第五一九二號

昭和二十年九月二十八日(金)
海軍大臣官房

○通牒

海人第九號ノ三八

昭和二十年九月五日

海軍省人事局長

關係各廳長殿

内地所在海軍施設系各部ノ職員ニ對シ運輸建設本部ノ事務囑託ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シ別紙甲號照會ニ對シ乙號ノ通回答相成候條了知相成度

(別紙甲號)

秘職一六七號

昭和二十年八月二十七日

運輸次官

海軍次官殿

海軍施設系各部ノ職員ニ對シ運輸建設本部ノ事務囑託方ノ件

海軍施設系各部ノ職員ニ對シ運輸建設本部ノ事務ヲ囑託(無給)致度處貴省御差支ノ有無至急承知致度此段及照會候

追テ御差支無キ場合ハ昭和二十年八月二十八日附ヲ以テ夫々發令セラレタルモノト處理ノ上各人ニ傳達方併セテ御取計相

成度

(別紙乙號)

官房人第四二六號

昭和二十年九月四日

海軍次官

運輸次官殿

海軍施設系各部ノ職員ニ對シ運輸建設本部ノ事務囑託方ノ件回答

八月二十七日附秘職第一六七號御照會首題ノ件ハ内地所在各部ノ職員ニ限り差支無之候

海軍公報 第五一九二號 昭和二十年九月二十八日

三一七

0030

海軍公報 第五一九三號

昭和二十年九月二十九日(土)
海軍大臣官房

○通牒

海人一第一號ノ一五二

昭和二十年九月二十六日

海軍省人事局長

各所屬長官(殿)
關係各所轄長(殿)

解員關係令達等ノ件通知

首題ノ件左ノ通發電セラレタルニ付了知相成度

發 海軍省

宛 部内一級

第一三一八五番電

准士官以上ハ解員後ニ於ケル現住所(變更ノトキハ其ノ都度)

ヲ士官及豫備士官ニ在リテハ海軍省人事局ニ特務士官及准士官

ニ在リテハ在籍領守府所在地ノ海軍人事務部(横須賀海軍人事務

部)ハ東京築地海軍經理學校)ニ速報スベシ但シ士官ニ在リテハ出

身生徒學校名及期別ヲ豫備士官ニ在リテハ專修別ヲ併記スルコ

ト

發 海軍省人事局長

宛 各領守府、各警備府參謀長(人事部長)

海軍公報 第五一九三號 昭和二十年九月二十九日

第一三二〇二六番電

航行可能ノ艦船(特設艦船ヲ含ム)ハ在外軍人軍屬及邦人ノ内地輸送ニ充當セシメラル見込ニ付第四豫備艦等ノ内報アリタルモノト雖モ一切ノ解員ヲ見合ハセ且通常航海ニ必要ナル程度ノ充員ニ關シ至急準備アリ度

發 海軍省人事局長

宛 各艦隊、各領守府、各警備府參謀長

第一四二〇〇四番電

海軍艦船ヲ以テスル在外軍人等ノ引揚ニ關聯シ艦船乗組充員ノ要アルニ付現役尉官(艦船乗員ニ適スル者)ノ解員ヲ差當リ中止セシメラレ度

○雜款

○轉官

舊官	氏名	新官	轉官月日	記事
海軍技師	金井邦夫	鐵道官	九月一五日	
同	出井北郎	地方技師	九月一〇日	
同	大友豐美	北海道廳技師	九月二〇日	

三一九

海軍公報 第五一九三號 昭和二十年九月二十九日

海軍書記	同
高橋 登	鑄方末彦
大分縣屬	師農事試驗場
七月三日	同

三三〇

0032